

ITインフラの現状把握とあるべき姿を無償で分析・診断

「ITインフラ成熟度診断」

「ITインフラ成熟度診断」とは

企業の事業活動においてITインフラは必要不可欠です。ITインフラを効果的に活用し投資対効果を高めるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現状のレベル（成熟度）と目指すべき目標レベルを診断・分析することが重要です。本診断は無償で利用でき、Web上で30問程度の質問に回答いただくことで、ITインフラの状態をユニアデックス独自の診断指標にて分析評価します。診断結果は、5段階のレーダーチャートにて理想的なITインフラ環境に必要な対策を診断結果報告書として提供します。



「ITインフラ成熟度診断」の概要

現状のレベル（成熟度）と目指すべき目標レベルを診断により可視化することで、ギャップを明確にし、改善に向けた検討を進めやすくなります。診断は、「インフラ」と「運用」の2つのカテゴリからご利用可能です。

お客様の課題

数年毎の変更は
どうしたら良いの？

場当たり的な対応で
対処しているけど、
本来どうすべき？

運用負荷を低減したいが
どうしたら良いの？

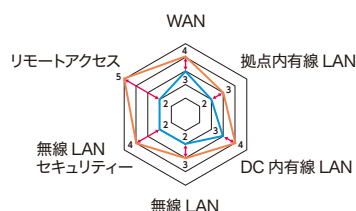
今のシステムと運用は
同業他社と比較して
どうなの？



ITインフラ成熟度診断

診断結果報告書（例）

— 現状レベル — 目標レベル — ギャップ



- 現状の診断結果と考察
- 改善のためのアプローチ案
- 目指すべきITインフラ環境
- 他社の成熟度レベル

※メニューによって報告内容は異なります

診断後のお客様

目指すべき姿と現状のギャップが
明確になり、解決すべき課題が明
らかになった

IT環境のレベル感が
客観的に理解できた

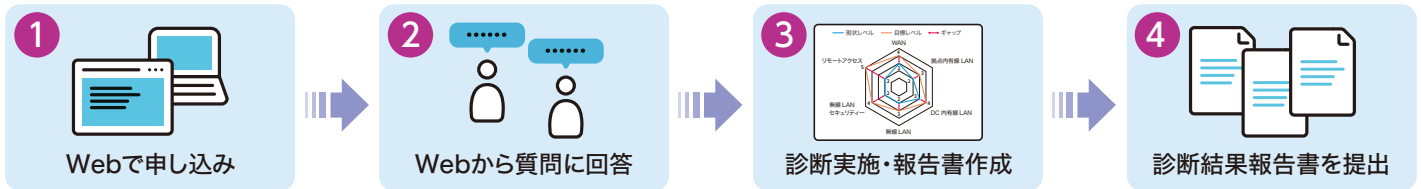
他社の状況を参考に納得性
のある目標を定められた

何を優先的に解決すれば良いか
わかり、ロードマップを描く参考
になった

「ITインフラ成熟度診断」の進め方

お客さまはWeb画面からお申し込み後、現状把握するための簡単な30問の質問に回答いただくだけで診断結果を報告します。診断メニューは、「インフラストラクチャー」と「運用」の2つのカテゴリーから要素別のメニューがあります。

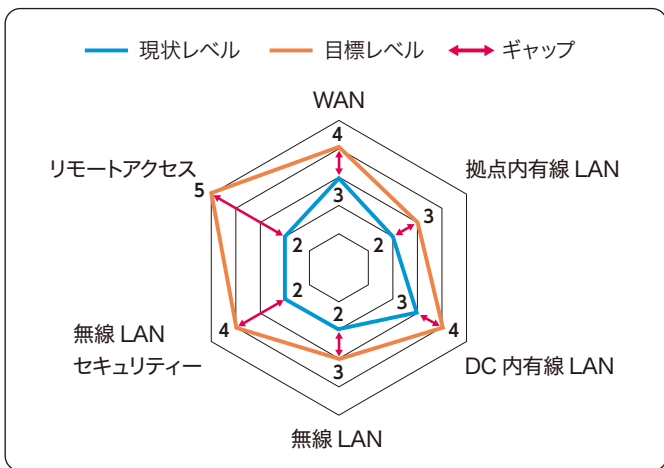
インフラストラクチャー	
ネットワークインフラ成熟度診断	ネットワーク構成を診断することで、可用性や品質面、自動化などの観点から中長期的に対応可能か診断します。
運用	
ネットワーク運用成熟度診断	ネットワーク運用における各業務を運用性・保守性・移行性の観点から評価し、運用業務の改善を支援します。
PC運用成熟度診断	クライアントPCのライフサイクル管理を診断し、運用の効率化を支援します。



お客さまはWeb画面からお申し込み後、質問に回答いただければ診断結果を報告します。

「ITインフラ成熟度診断」の結果報告書サンプル

診断メニュー別の要素(ネットワークインフラ/ネットワーク運用/PC運用)ごとに、診断結果を数値と考察にて報告します。



レベル	NW_有線 WAN	NW_有線 LAN(EN/DC 共通)	NW_有線 LAN(EN)	NW_有線 LAN(DC)	NW_無線 WAN	NW_無線 LAN: セキュリティ(無線)
5	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル
4	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル
3	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル
2	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベルと目指すべき目標レベルを診断	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル
1	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル	ITインフラを効果的に活用し投資対効果が高まるためには、自社のITインフラと運用の現状把握を行い、現在の成熟度レベル
結果	3	3	2	3	3	3
目標	4	4	4	4	4	4

Why ユニアデックス?

ユニアデックスは、ICTインフラトータルサービス企業として培ってきたノウハウを生かし、IT環境の診断から、コンサルティングサービスやアセスメントサービスでの構想策定、計画立案、システムの構築実装、保守運用にいたるまで、お客さま事業の成功に向けて、ITインフラに関するPDCAサイクルのすべてを支援していきます。



ユニアデックス株式会社

UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560
TEL 03-5546-4900 (大代表)
URL <https://www.uniadex.co.jp/>

Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
Telephone: +81(3)5546-4900
URL: <https://www.uniadex.co.jp/>



Webサイトでも
商品・サービスの
情報提供中

- 関西支店 TEL06-7178-0211
- 北海道営業所 TEL011-558-1900
- 静岡営業所 TEL054-272-4722
- 中国営業所 TEL082-242-5088
- 中部支店 TEL052-204-6850
- 東北営業所 TEL022-261-9217
- 長野営業所 TEL026-238-7502
- 四国営業所 TEL087-821-1511
- 九州支店 TEL092-473-3003
- 新潟営業所 TEL025-247-7600
- 北陸営業所 TEL076-233-9850

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。